

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	末寄 雅美	職名	教授	学位	修士(教育学)(九州大学大学院 1998年)
----	-------	----	----	----	------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
保育者養成教育	実習指導、環境遊び、体験学習など

研究課題
保育者養成における体験的な学びを通じた保育観・子ども観の育成—環境遊びを中心として

担当授業科目
教育実習指導(通年) こども学基礎演習(通年) 教育原理(前期) 保育・教育実践演習(後期) 保育メディア演習(後期) 保育原理(後期) 保育内容「環境」(後期)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<b>授業科目名【保育原理】</b> 保育に関わる基礎的な概念や子ども理解のベースとなる授業内容のため、学生にとって出来るだけ分かりやすく、かつ基本的事項を確実に身につけられるような工夫として、テーマ別のノートプリントを作成し、それをもとに授業を進行した。ノートを取る習慣をきちんと身につけるよう、ノートプリントは提出を求めるようにした。
<b>授業科目名【教育原理】</b> 17年の教育要領・保育指針改定により保育における幼児教育の意義づけや保育者としての新たな役割など、保育をとりまく状況についてできるだけ新しい情報に基づいたものとなるよう、また学生が「教育」に対し日常的に興味関心を深められるような授業内容となるよう改善を行った。
<b>授業科目名【保育内容「環境」】</b> 授業に屋外での体験学習を取り入れたり、アクティブ・ラーニングになるよう工夫した。 また、地域環境と保育活動について、ゲストティーチャー(到津の森公園、獣医師)を招き、園外保育の引率を想定した話をして頂いた。
<b>授業科目名【保育メディア演習】</b> メディア環境について、学生の関心を高めるためにディベート形式での授業を行い、自身のメディア接触を元に、保育や子育て環境におけるメディアとの付き合い方について実体験から振り返る機会とした。より学生の理解が深まった。

<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>「観察実習」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と段階的に行われる実習に対し、学生がそれぞれ課題意識を持ちながら臨めるような指導を行った。特に「教材研究」として、一年次には手遊び、二年進級時にはペープサートなどの教材作成と実演、二年後期では現場で継続的に使用できる教材の作成と実演を行った。また18年度は入学直後に、キリスト教にまつわる子ども向けの話を「素話」として実演する授業や、外部講師によるモンテッソーリ教育の講話の前に教材の部屋を訪れるなどの工夫も新たに行った。</p>
<p>授業科目名【教職実践演習】</p> <p>現場での保育実践を見越したアクティブラーニングの授業を行った。「模擬保育」ではクラス毎に二人一組で指導案作成と模擬保育の進行を行い、他の学生は子ども役・観察者となり実践後には意見交換を行う内容で、学生個々人の学びと実習経験が生きる授業となった。「実践に学ぶ」では、保育の実践記録を読み合い、意見交換を行った。「行事について」では、グループワークを行い園行事への理解を深めた。いずれも、学生が授業への参加意識が高まるような工夫を行っている。</p>
<p>授業科目名【こども学基礎演習】</p> <p>18年度より、科目の主担当者となった。前期では「遊び体験実習」と「アフターミーティング」を組み合わせた授業を行い、現場での実習体験と日頃学んでいる専門領域と関連付けながら、早い段階から子ども理解を深める学習を実施した。</p> <p>後期には「おはなし発表会」をマロリーホールで実施し、ゼミ毎に絵本を題材にした劇・ペープサートなどの発表を行うための準備、指導を行った。なお、この指導には児童演劇を専門とする外部講師を招いて助言してもらうなど、おはなしの技術が身につくような工夫も行っている。</p>
<p>授業科目名【こども学特別演習】</p> <p>18年度より科目担当者となった。2年次のゼミ活動の科目であるが、「だいすきにつぼん」の実施を含めた体験学習や学外研修を中心に行った。学外研修では、2018年11月に北九州市「環境ミュージアム」での幼児向け研修引率体験、2019年2月に長崎県小値賀町野崎島での宿泊野外学習を行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本保育学会	理事 (2004-2010年、2018年-) 事務局幹事 (1996-1998年)	2013年5月～ 現在に至る
日本保育者養成教育学会		2017年3月～ 現在に至る
日本社会教育学会		1996年4月～ 現在に至る
日本生活体験学習学会		1998年10月～ 現在に至る
九州教育学会		1996年4月～ 現在に至る

2018年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. 福岡県保育士等キャリアアップ研修テキスト～幼児教育～	共著	2018年4月	福岡県・公益財団法人 総合健康財団	① 福岡県下で行われる「保育士等キャリアアップ研修」に用いるためのテキストとして執筆した。特に、新保育所保育指針に示された「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」を解説することを踏まえて、幼児教育の役割と機能、幼児教育の現状と課題、幼児教育と児童福祉の

2018年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				関連についてまとめている。 ② 監修者 福岡県保育士等キャリアアップ研修テキスト検討会 (牧野桂一、足立善一郎、上村初美、清水陽子、安元大介) 共著者 鐘ヶ江淳一、清水陽子、他8名 ③ 担当部分 第1章 幼児教育の意義(P.3-P.12) 総頁数 P.136 ④ A5判
(学術論文) 1. 子ども理解を深める教育実習(幼稚園)・保育実習指導ー保育者養成校初年次教育における段階的な実践を通して	共著	2019年3月	筑紫女学園大学教育実践研究第5号、筑紫女学園大学実習センター	① 執筆者2名が所属していた短期大学の保育者養成課程の初年次において行った実習指導についてまとめた。子ども理解を深めるという視点で、特色ある実習及び実習指導を行っており、段階的に理解・実践できるように工夫したことで主体的に学ぶ保育者となることを明らかにした。 ② 共同執筆者名 上原真幸(筑紫女学園大学) 末寄雅美(西南女学院大学短期大学部)
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者( )内は学外者	交付決定額 (単位:円)
保育者養成における保育者としての資質の変容に関する縦断的研究(2018年度交付)	西南女学院大学共同研究費	○阿南寿美子 笠修彰 篠木賢一 命婦恭子 上村真生 末寄雅美 (上原真幸)	386,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
八女市子ども子育て会議	委員、会長	2016年9月～現在に至る（2020年9月迄）
柳川市保育協会保育士会研修部会	助言講師	2006年4月～現在に至る
八女市子育て支援員講座	講師	2015年～現在に至る
福岡県保育士等キャリアアップ研修	幼児教育担当講師	2018年8月
唐津市保育士会・新保育所保育指針研修	講師	2018年8月、12月
九州保育団体合同研究会	分科会運営委員	2018年8月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 副委員長 2018年4月～2020年3月</li> <li>・人事委員会 副委員長 2018年4月～2020年3月</li> <li>・学長候補者選考委員会 委員 2018年7月～2018年12月</li> <li>・教員免許状更新講習「保育の質の向上と保育の専門性：保育における遊び環境について」講師 2018年8月21日</li> <li>・キリスト教保育連盟 西南女学院大学短期大学部保育科代議員・代表者 2018年4月～現在</li> <li>・西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園 幼稚園運営委員 2018年4月～現在</li> <li>・西南女学院高校との高大連携講座、専門科目模擬講義「環境に関わる遊び」2018年6月13日</li> <li>・地域連携事業「だいききにっぼん」遊び担当 2018年6月30日</li> <li>・オープンキャンパス 模擬授業担当「不思議だなやってみよう」2018年8月18日</li> <li>・進学ガイダンス下松高校1、2年生対象「保育・幼児教育の仕事」講師、2019年3月19日</li> </ul> 他、学生募集のための高校訪問の実施等